



たかぎ 議会だより

No.97 令和4年4月

P2~6 新年度予算

P6 令和3年度補正予算審議

P7 令和4年第1回定例会
議案審議内容

P8 総務産業建設常任委員会
令和4年第1回臨時会

P9 議会の取り組み

P10 一般質問

P11 議会モニター

P12 この村でがんばってます

～ 新しい制服に身をつつみ、希望に満ちた入学式 ～



一般会計当初予算 46 億円

繰越額 3 億円を加え総額 49 億円余

過去最高額更新
(0.7%増)

令和 4 年度に取り組む重点項目

①子育て支援・定住促進

着目した特徴的な事業

統合保育園の建設

6 億 3,406 万円 (令和 4 年度分)

令和 4 年 11 月竣工をめざす。
緊迫する国際情勢がどの程度影響するか。

Q: 園名、園歌の選定は。
A: 園名は年度初め早々に公募
していく。園歌は近隣の状
況を踏まえ検討。

Q: 送迎バスの見通しは。
A: 30 名程度の利用希望がある。
バス購入も視野に入れなが
ら運行ルート等検討を加
えていく。

Q: 通園路となる県道大島阿島線
の城坂の電柱を含む安全対策は。
A: 毎年県に働きかけているが進展
はない。粘り強く働きかけて
いく。

公営住宅事業

3 億 5,538 万円

阿島北地区へ村営集合住宅を建設

Q: 集合住宅について、日影への配慮も
含めたプロポーザルとなるか。
A: 日影への配慮も含めたものとなっている。

基金の繰入について

Q: 前年度と比べ基金の繰入が 1.5 倍ほどと説明されたが
こうした状況は今後も続くのか
A: 主な繰入増は村営住宅建設の為に、こうした事業の為
の基金である。国庫補助等の財源を利用した場合、収入
制限などの制約があり若者世代向けの事業では使いづら
い。

宅地造成事業

300 万円

中原地区への宅地造成の
ための委託費の計上。
宅地分譲 10 区画程度の
整備を計画。

今後の宅地分譲の見込みは？

現時点で、北地区と帰牛原中原地籍の他に村による分譲地
の造成計画はない。時に民間事業者の事業展開を活用し、
村の目的に合うものであればそれに頼り、必ずしも公費投入
を行う必要はない。宅地を分譲するといった事業だけではなく、
場合によっては上下水道や道路といったインフラの
整備に予算を割くことで民間の事業展開を促すことにより、
所期の目的を達成できるということもある。多角的な視点
に立った上で今後の検討を行っていく。

小川原議員一般質問答弁より

Q: 景観維持の観点から電柱のない開発に
したらどうか。
A: コスト面と景観を考えたとき判断がつけ
づらい。課題は大きい。

UIJターン推進事業

喬木村在住の就学金を返還されている 30 歳以下の方
を対象に、奨学金返還額 (前年度) の 1/3 を、
消防団員は 1/2 を助成する。(予算額 100 万円)

Q: 喬木村出身者のみの対象か。
A: 村外出身者も対象。

住宅等支援事業

1,536 万円

定住促進及び耐震対策の
ための住宅関係補助。

国民健康保険特別会計	5億円（前年並）
後期高齢者医療特別会計	9千万円（2.3%増）
介護保険特別会計	8億5千万円（5.5%増）
水道事業会計	2億8千万円（15.0%減）
下水道事業会計	5億9千万円（30.2%減）

予算総額
69億1000万円
可 決

②SDGsの推進と災害に強いむらづくり

③新型コロナウイルスへの対応

脱炭素・循環型社会推進事業（地球温暖化防止計画）

温室効果ガスの排出抑制等を行なうための施策事項を定める地球温暖化防止計画を策定。

1,350万円



復旧が進む加々須崩落現場

Q: そもそも何を行なうの。

A: 国の定める2050年カーボンゼロに向けた取り組みに当村も目標を定め、様々な事業に取り組んでいく。その為の計画策定のための基礎調査からスタートする。

常備消防費

1億1,032万円

飯田広域消防の火災、救急、救助活動に対する負担金

災害対策経費（地区拠点避難所電源供給モデル事業）

380万円

中央社会体育館へ電気自動車から電源供給できるようにする。

消防団運営経費

3,061万円

消防団員の年額報酬の見直しを行なう。一般団員報酬年額、25,000円を36,000円に引き上げ、災害出動時の報酬を新設する。

団員数維持のために、処遇改善を行なう。

公用車維持管理経費

570万円

電気自動車購入費用

Q: 充電器の使用を有料もしくは無料を含め一般の方の使用を考えているか。

A: 高速充電使用ではないので数時間の充電が必要で公用車だけの設備と考えている。

消防操法技術大会について

Q: 中止する自治体も出てきているが喬木村では。
A: 今の所中止は考えていない。訓練の機会を限定する中で団員の負担軽減を図っていきたい。

森林災害復旧事業費

800万円

九十九谷森林公園（くりん草、あじさい園）の災害復旧

河川維持経費

排水路対策

水害防止のための水路測量設計委託料（700万円）

Q: 馬場、堰下排水路整備のための設計委託料を計上されたが、整備の実施計画はどのようになっているか。

A: 基礎調査を行いどの様な改良が必要か検討を行った上で予算化をしていきたい。

Q: 復旧の進捗状況は

A: 令和3年度までは県の元気づくり支援金を活用していた。令和4年度も引き続き事業を継続し、くりん草祭りまでには影響する箇所への復旧に努めたい。

公共施設の長寿命化改修工事

第1 公民館トイレ洋式化工事

400万円

運動公園トイレ改修工事

2,261万円

Q: 改修の内容は。

A: 和式から洋式へ、それに伴う建具の取り替え、扉の設置、外壁の塗装など計画。

Q: おむつ交換の施設は設けられないか。

A: 多くの施設等で所見し把握はしている。前向きに検討する。

喬木荘、デイサービスセンター改修工事

2,200万円

喬木荘、デイサービスセンターの浴槽の改修などを行なう。

Q: 改修にあたり国庫補助は受けられないか。

A: 建物の一部改修に対する補助メニューは残念ながらない。その為地方債をあてることとした。

社会資本整備総合交付金事業

7,791万円

村道 297 号線南農事集会所前道路新設ほか

道路橋梁新設改良工事

8,400万円

村道 200 号線（竜東一貫道路）等の舗装修繕工事を今後 5 年間にわたり行なう。

Q: 竜東一貫道路をはじめ村内のいたる所で道路のひび割れ等傷みが見られるが、今後の計画はどうなっているか。

A: 竜東一貫道路は、北地区から補修を行い、次に伊久間地区、そして九十九谷の道路修繕を今後 5 年間でめどに計画をしている。

バスケットコート整備工事

700万円

⇒バスケットコートを廃止し人々の交流、憩いの場、地域の安全面の確保、地域の特産品の販売など総合的に提供できる場に作り替える。

Q: バスケットコート跡地の公募型プロポーザル方式貸付事業の状況は。

A: 貸付価額は 231,000 円（年額）。1 団体から申し込みがある。予定地の造成工事は年度初めから行ないたい。

棕記念館図書館改修工事

573万円

・照明 LED 化、飛散防止フィルム貼付工事

農村交流研修センター改修工事

1,272万円

Q: 改修では喬木村の案内役としてふさわしい総合的見地からの設計内容となっているか。

A: ハード面は村外の方も利用しやすい様にしたい。村の案内役などといったソフト面での充実を更に図ってもらい、事業展開については NPO と意見を出し合いながら今後双方で検討していきたい。

公園事業

矢筈キャンプ場遊歩道整備工事

240万円

村単道路改良事業

9,664万円

上平トンネル照明 LED 化、統合保育所周辺道路改良工事等

Q: 弁天橋付近の朝夕の通勤時間帯の渋滞解消はできないか。

A: 毎年数回の現地調査を行い、関係機関への要望も行っているが今後も要望を行う。

三遠南信自動車道関係経費

3,550 万円

胡桃沢残土処理場等用地買収に関する費用の増
土地購入費 3 千万円

富田バイパス工事について

Q：若者定住住宅付近の安全対策のための
フェンスの設置は可能か。

A：交差点付近は危険であると認識しており、
飯田建設事務所も含め検討を進めたい。

Q：今回の消火栓の移設は村の事業なのか
地元なのか。

A：今回の様に水道管設置の際に村があらかじめ設置
していく場合は村、更に必要という地元要望があっ
た場合は地元負担となる。

リニア関連工事の計画について

3月16日に村のリニア対策委員会、3月18日に阿
島北地区、3月20日にその他の地区を対象としてJR
より現在の工事の進捗状況と、今後の工事計画につ
いて説明がなされた。

今後注視しなければならない工事が多いが、まずは
天竜川橋りょう（約515m）の工事に続き、いよいよ
住居圏内の高架橋工事（約445m）に着手。

竜東一環道路の片側通行が長期間にわたり、令和4
年6月頃から規制が始まる予定で、村民の生活に直接
的な影響が予想される。

- ① 工用道路の進入路整備に約1ヶ月間（令和4年6
月頃～）
- ② 道路に近接する下部工の構築（東側）の際に竜東井
の切り回し水路の設置に約1ヶ月間片側通行、歩道
については約8ヶ月間通行止め。（令和4年秋頃～）
- ③ 西側については令和5年夏頃からで、以後上部工へ
と進む計画

ふるさと納税関係経費

7,400 万円

寄付金見込み 1 億 5 千万円を見込む

Q：ふるさと納税寄付金見込み額
5,000 万円の増額の根拠はなにか。

A：令和3年度の見込み額は1億円とし
たが、3年度末では1億8千万円ほど
が実績として見込まれており、不確定な
要素はあるが主力の桃等果実の価格設定の
バラエティーを増やすことで可能な金額
と思われる。また年間を通してパソコ
ンも人気で約200万円の増と見込ん
でいる。

商工業振興経費

1,879 万円

商工業の振興を図るため、
商工会及び村内事業者の支援

地域活性化関連事業補助金

960 万円

NPO 法人たかぎ及び地域活性化団体の運営支援

農業振興事業補助金

農業経営収入保険推進対策補助金（15万円）、
園芸施設共済加入促進対策補助金（20万円）
を新設。

農業次世代人材投資事業

1,200 万円

新規就農者の確保及び定着を目的とした
国庫事業にかかる経費

対象者 8 名、今年は
新規に 3 名が増える見込。

ICT 活用教育関係経費

824 万円

出産祝い金事業

400 万円

今年度から
出生児1名につき
10万円(改正)

教育・文化関係の周年式典行事の開催

第一小学校・第二小学校 150 周年
中学校 75 周年 239 万円

Q: 周年式典の内容は。

A: 記念式典は小中学校合同で、11月12日(土)を予定している。記念式典、記念講演会、記念祝賀会を計画。また別の日に、各校、記念行事を計画。小学校2校は記念音楽会、中学校は記念講演会を予定。

小中学生入学祝品支給事業

346 万円

- ・小学校入学祝品 文房具等
- ・中学校入学祝品 制服・通学用かばん

新中学1年生は令和4年度からリニューアルした制服で登校がスタート

予防接種事業経費

2,279 万円

子宮頸がんワクチンの定期接種(12-16歳)とキャッチアップ対象者(H9-17生まれ)への積極的接種勧奨が再開

棕記念館図書館開館30周年

記念行事として、原田泰治原画展を計画
企画展委託料として250万円を計上。

新型コロナウイルスワクチン接種事業

2,557 万円

Q: 文化祭・ふるさと祭りを行うとしたらどのような日程を計画しているか。

A: 現在文化祭・ふるさと祭りにおける関係団体と8月15日運動公園周辺を軸に検討を致している。

12歳以上 1~3回目
5歳~11歳 1~2回目
の接種を計画

4/2 現在の接種状況
3回目 全体 48.4%
(65歳以上 91.0%
12~64歳 25.4%
小児(5~11歳)
1回目 13.5%

令和3年度補正予算審議

一般会計歳入歳出予算総額より2億2,469万6千円を減額し46億255万6千円となった

本定例会において審議された補正予算は、実績に基づく年度末精算によるもの。昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響による事業中止や工事減が主な要因となっている。

次年度に繰り越された主な事業

- ・村民バス購入経費 2,240万円
- ・リニア、堰下ガイドウェイ製作・保管ヤードの盛り土関連 6,985万円
- ・飯田養護学校南側道路の舗装工事 300万円
- ・北宅地造成の工事 5,355万円
- ・北宅地造成関連村道154号線、南農事集会所前216号線の工事 7,073万円
- ・馬場511号線の改良工事、中原統合保育園西側道路工事 7,800万円
- ・運動公園電気設備の整備、中央社会体育館の外壁修繕工事 733万円

議案審議内容

令和4年第1回定例会は、3月2日に開会し、報告議案、即決議案、委員会付託議案、発議等全28議案を審議の上、全会一致で可決し、3月22日に閉会した。

報告第1号

(令和4年専決第1号)

損害賠償の額を定め、和解することについて

村道141号線の瑕疵に起因する事故による損害を賠償し、和解したことの報告。

議案第6号

職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

育児を行う職員の職業生活と家庭生活の両立を一層容易にすることを目的に、非常勤職員に係る育児休暇の取得要件を緩和。

議案第9号

一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

人事院の国会及び内閣に対する令和3年8月10日付の職員の給与の改定に関する勧告を踏まえた一般職給与法の改定に倣い、一般職の職員の期末手当の額を改定。

議案第12号

喬木村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

法改正に伴う見直し。

新規＝
未就学児の均等割額の軽減

議案第18号

特別養護老人ホーム喬木荘の指定管理者の指定について

現在の指定管理者である社会福祉法人喬木村社会福祉協議会を指定管理者として指定。

議案第4号

辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について

加々須辺地に接続する県道は、幅員が狭い上に木々が生い茂っていることで雪解けが悪く、落石等も発生しやすい悪路となっており、幹線道路・橋梁・生活道路の整備が急務となっているための計画変更。

議案第7号

喬木村職員のサービスの宣誓に関する条例等の一部を改正する条例の制定について

「地方公共団体における書面規制、押印、対面規制の見直しについて」の発出に倣い、行政手続の簡素化を図るため関係条例の所要の改正。

議案第10号

特別職の職員で常勤の者の給与に関する条例の一部を改訂する条例の制定について

特別職給与法の改正に倣い、特別職の職員の期末手当の額を改定。

議案第16号

喬木村消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について

年金制度の機能強化のため国民年金法等の一部を改正する法律により、例外規定が削除されたことに伴う改正。

議案第29号

副村長の選任について

副村長の辞任に伴い、新たに、小川田上川 村澤明彦氏選任の同意を求める。

議案第5号

喬木村例規集の用字、用語等の整備に関する条例の一部を改正する条例の制定について

「公用文作成の考え方」の周知について(令和4年1月11日付内閣文第1号内閣官房長官通知)に改める。

議案第8号

特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について

監査委員(識見者) 310,000⇒324,000、福祉委員長152,000⇒165,000、福祉委員132,000⇒145,000の報酬の額を改正。

議案第11号

議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

特別職給与法の改正に倣う特別職の職員の期末手当の額を改定に準じて期末手当の額を改定。

議案第17号

喬木村デイサービスセンターの指定管理者の指定について

現在の指定管理者である社会福祉法人喬木村社会福祉協議会を指定管理者として指定。

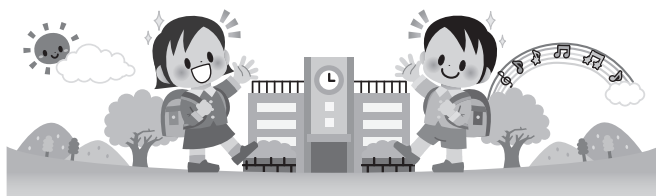
発議第1号

ロシアのウクライナに対する侵攻を非難する決議

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻は、「非核平和自治体宣言」をしている本村の村議会としては、ロシアのウクライナに対する侵攻を強く非難するとともに、ロシア軍の即時撤退と国際法の順守を強く求めることを決議した。

村澤明彦氏経歴

平成4年4月入庁。総務課税務係、産業建設課商工林務係・ふるさと交流係、商工観光担当、健康推進室、健康推進担当、総務課庶務係長、総務課長、企画財政課長を歴任



総務産業建設常任委員会

委員長 佐藤文彦

3月10日、13時30分より総務産業建設常任委員会を開催し、村からの付託議案3件の審議を行った。それぞれの審議内容は下記の通り。

議案第13号

喬木村道路占用料徴収条例の制定について

【趣旨】道路の占有に対して、適正な管理を行う目的で占用料を徴収するため。

【主な質疑】

- Q 施行に当たっては、ほとんどの方が減免になると言う事だが、遡及して適応されるか？ また徴収に該当するような構造物とはどのようなものか？
- A 住民の方に負担いただくようなものは遡及して適応できない。施行日以降に該当する方が占用料の支払い対象となる。通路等については個人住宅の方が対象となることはないと思われる。幹線道路沿いに店舗などを設ける場合など、4m以上の入り口が必要となる場合は該当する。他には個人住宅の工事などで足場が道路に架かる場合や広告物などが主に該当となる。

議案第15号

喬木村消防団員の定員、任免、給与、服務に関する条例の一部を改正する条例の制定について

【趣旨】消防団員の処遇改善を図ることを目的として、団員階級の年額報酬を引き上げ及び災害時の出勤報酬の創設等について規程するため。

【討論】

賛成 全村的に消防団員のなり手が減少する中、地区によっては入団率を上げている班もある。意識の高い団員達を待遇面でも評価し応援していくことは非常に大事なことである。

【委員会採決の結果】

全議案とも、全会一致で原案の通り可決した。

議案第14号

喬木村下水道条例の一部を改正する条例の制定について

【趣旨】下水道使用料の改定を行うため

【主な質疑】

- Q 今後の人口減少が見込まれる中で、全体の流量も減少すると考えられるが、それらも想定しての料金設定か？
- A 令和4年度以降の下水道使用料の予測は、平成28年度に策定した経営戦略の数字を引用している。基本的には下がっていく予測をしており、それらも勘案しての料金設定としている。
- Q 他市町村と比較した場合はどうか？
- A 近隣町村とも比較をしているが、値上げ幅についてはこれから示される。豊丘村においては下水道料金より先に水道料金の改定を行うと聞いている。高森町は下水道料金だけを見ると喬木より低いが、水道料金を合わせると140円弱の差で、さほど大きな差にはなっていない。
- Q 101㎡以上の使用は企業になると思われるが、料金の値上げについて理解いただけるか？
- A 排出に関することなので、ご理解いただけるよう広報なども通じて周知していく。

喬木村消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正

1. 年額報酬の額の引上げについて
 - ①非常勤消防団員の報酬等の基準（以下「基準」）第2を踏まえ、団員階級の年額報酬を36,500円に引上げる
 - ②班長以上の階級及び機能別団員の年額報酬については、据え置く
2. 出勤報酬の支弁対象の拡大について
 - ①基準第3を踏まえ、災害（火災・風水害等）時の出勤報酬の支弁を明示
 - ②出勤報酬の額は、1日当たり8,000円とする

令和4年 第1回臨時会

2月9日午後1時30分より、松村光洋新議員を含む11名全員の出席のもと、臨時議会が開催された。今回は契約案件2件、補正予算1件の審議を行なった。

喬木村統合保育園建設工事の契約変更

7億5,900万⇒8億6,500万

外構工事一式発注による増
プール、園周フェンス、門扉や構内舗装、排水、植栽、通路シェルターなどの工事

村民バスの車両の更新

2,240万円

村民バスそよかぜ（氏乗線）の老朽化に伴う車両更新。

一般会計補正予算 主に新型コロナウイルス感染症対策に関わる事業執行によるもの

地区集会施設の感染防止対策

貸し出し用アクリルパーテーション 60万円
体温測定カメラ 400万円（各地区1台ずつ整備）

住民税非課税世帯等に対する臨時特別金給付事業 5,602万円（国）

1世帯あたり10万円給付

抗原定性検査キット購入費 234万円

子育て世帯臨時交付金事業 4,697万円（国）

年末給付分の予備費計上分

製造業等緊急支援事業補助金 600万円

燃料価格高騰対策補助 10円/ℓ・ガス 50円/1㎡

事業者応援支援金 700万円（県）

1事業所当たり10万円

施設農業緊急支援事業 400万円

燃料価格高騰対策補助 10円/ℓ

県道大島阿島線



令和2年7月12日に発生した、県道大島阿島線三枚添地籍の崩落箇所。被災箇所を回避するためのバイパス道路の整備も順調に進んでおり、橋梁2橋（三枚添橋・新三枚添橋）が完成し、現在それらに接続する道路の盛土工事が行われており、現地にて飯田建設事務所より説明を受けた。いよいよ、7月には開通となる。約2年間に及ぶ工事となり、特に大島地区の皆様にはご不便をお掛けしてきましたが、国、県、建設事業者の皆様のご協力により、通常よりも早い工期での完成となったことを現地にて確認した。

リニア 天竜川橋梁ほか新設工事



住民の皆様も阿島橋を渡る際、上流に2つの橋脚工事を目にされているかと思う。現在2基の橋脚基礎を構築する「躯体構築工事」と、夜間に所定の深さまで落とし込む「掘削工事」、掘削に伴い発生した土砂の運搬工事が行われている。今回の工法は「ニューマティックケーソン工法」と言い、コップを逆さまにして平らに水中に押し込むと、空気の圧力により水の侵入を防ぐことができるという原理を応用したもので、ケーソン（函）下部に気密作業室を設け、そこに圧縮空気を送り込んで地下水の侵入を防ぎながら掘削していく。作業員は作業室への入出時には加圧減圧の調整を行うなどの管理・設備が必要となるが、井戸枯れや周辺地盤への影響も少なく、汚泥の発生もない環境に優しい工法となっている。今回はそれらも含め遠隔作業室と作業現場の視察を行い、施工業者とJRから説明を受け質疑応答を行い確認した。

委員会のオンライン開催への準備

災害時対応

新型コロナウイルス感染症の拡大といった非常時こそ、地方議会の存在意義を発揮しなければならぬ。しかし、多数の議員が感染、あるいは濃厚接触者となりうる可能性もある。現に大津市議会では議場のある庁舎においてクラスター（感染者集団）が発生し全館閉鎖となった事例もある。こうした状況下においても地方の議決機関の機能を維持することは、地域に暮らす皆さんの生活を守ることに直結する。

こうした中、全国的にも地方議会の本会議や委員会が、オンライン会議により開催できるのか検討されてきた。結論的に言えば、本会議についてはオンライン会議はできない（地方自治法により、本会議の出席は「現に議場にいること」と解されている）が、委員会については各団体の条例や会議規則等について必要に応じて改正等の措置を講じたうえで開催することは可能とすることだ。

喬木村議会としても、6月の定例会に向け、委員会条例、会議規則などの一部改正とあわせ、会議の公開など住民へ分かりやすい議案・関係資料の提供方法なども検討し、オンライン会議が可能となるよう準備を進める。活発な議論が期待される地方議会において、リアル会議がベターであり、これらは次のBCPにも繋がるが、あくまでも緊急避難措置となる。

しかし、オンラインの定着は、今後の議会運営への変化も期待できる。子育てや介護、在宅勤務と議会活動の両立など、現役世代や女性が議員になる道が広がる可能性もあり、様々な視点から運用のあり方を検討していく。

議会BCPの検討

先の東日本大震災や熊本地震を契機として業務継続計画（BCP）の策定が地方自治体にも広がりを見せている。本村においても平成30年6月に「喬木村業務継続計画」が策定され、大規模災害発生後の災害応急活動、更に非常時においても継続性を求められる行政事務への迅速な対応が定められた。

一方、議会においては東日本大震災で問題となったように、専決処分が多く行われるなど、二元代表制の一翼である議会の基本的な機能を果たせなかった経緯がある。また、新型コロナウイルス感染症の蔓延など、今後も災害のみならず、感染症や凶悪犯罪、大規模事故、食の安全などあらゆる非常時においても、議会の機能を早期に立上げ、また回復させる必要性がある。そのため、議会災害対応マニュアル及び業務継続計画（議会BCP）を策定することとし、現在、協議・検討を進めており最終段階に進んでいる。



信州大学新学部の誘致について

後藤 澄 壽 議員



Q 喬木村として、信州大学新学部誘致が南信州の今後の発展にどのような意味をもつと考えるのか。

A この地域に新学部が設置されれば、自宅から大学に通うことができるだけでなく、地域外からの学生や教職員の転入が見込まれ、地域経済にとって大きなプラスになると考える。また、産業の面でも地元企業との連携や、新産業の創出にもつながっていくことが期待される。

■喬木村の小中学校におけるプログラミング教育について



長期的視野に立った歳入・歳出について

木下 温 司 議員



Q 歳入があって、歳出があるので、現状と今後について3年ごとの計画から「入りを量りていずるを為す」を考える。

A 人口の維持について、今後北地区、中原地区に宅地開発を行い、人口減を食い止める。ソフト面では出産祝い金の制度の見直しにより子育て世帯の負担軽減を図るとともに、若年層の移住、定住の促進のため、奨学金の返還支援制度の創設など、ハードとソフト面で、安心して子育てができる施策を進めていく。

■関連して、自主財源確保に向けて、滞納整理についてなどを質問。



外国語（英語）一貫教育の学習体系と指導体制について

櫻井 登 議員



Q 保育園から中学校まで、つながる外国語学習はどのように進められているか。

A 外国語学習（英語）において、就学前から発達段階に応じて英語に親しみ学びを深めていくことがその習得に必要であると考えている。現在、保・小・中一貫カリキュラムを作成し、今年度末には第1次案を作り上げたいと考えている。外国語の教科化は「聞く・話す」「読む・書く」の力の育成もしていく。

■外国語教育に必要な母国語（日本語）の語学教育について



今後の地域コミュニティのあり方について

下平 貢 議員



Q 地域活動の負担軽減のための活動のスリム化や効率化は図れないか。

A 地域活動の見直しを行っていくチャンスでもある。改めて、地区内で活動のために必要な自治会組織はどんな組織であるかを考えて頂きたい。村も自治会へ依頼する事項や選出委員の必要性、また選出人数など改めて検討をしたい。今後は、活動の負担軽減や効率化にデジタル化の推進も有効と考えている。

■コロナ禍や燃料高騰や物価上昇下での今後の支援について



観光資源、村民の憩いの場として矢筈キャンプ場の整備は

福澤 眞理子 議員



Q 遊歩道に倒木、テントサイトに雑木。うっそうとして入って行きにくいと言われる。安心利用のため整備が必要では

A キャンプ場内の樹木整理は、河川を管理する長野県と協議しながら、適切な樹木管理をしていきたい。キャンプ場からダム湖への遊歩道は複数個所で寸断されており、危険な状態であり令和4年度から複数年かけて遊歩道周辺の倒木や支障木の処理、テントサイトの整地等を行う改修工事を計画している。

■学校の女子トイレに生理用品の配置で安心な学校生活の環境を。



宅地分譲について

小川原 美智穂 議員



Q 村長あいさつにあった都市部の若い世帯を呼び込むだけの戸数が、2分譲地だけで賄えると考えているのか。

A 現在、村で計画している宅地分譲予定は、令和4年度に北地区で9区画、令和5年度に中原地籍で10区画、これらの分譲地はリニア建設工事に伴う村内の方や近郊の方向けに今すぐ見込まれる需要に対して行う。都市部の若い世代を呼び込むための分譲については新たな戦略を練ったうえで計画したい。

■今後の宅地分譲の計画は

■若い世帯に選ばれるための施策は



村長の所信表明に関して

佐藤文彦 議員



Q 東京一極集中の是正、地方分権の推進のため、堰下の後利用について、省庁のバックアップ機能の誘致を提案する。

A 中央省庁の一部機能の移転について、是非喬木村にお願いしたいという気持ちを強く持っており、地元選出国會議員にも提案している。ハードルは高いが諦めることはない。関西広域連合も移転の推進をしている状況。喬木村の動きで長野県を動かし、県が積極的に推進していただくことが必要と考える。

- 役場内組織の強化
- 森林整備の具体策
- 地域経済への新たな支援策等



1月の再選挙で議員となりました

人と人の絆を大切に
誰もが自分らしく暮らせる村づくり



社会文教常任委員会
松村光洋

議会モニターと議会との懇談会開催

令和3年度最後となる、議会モニターとの懇談会が3月12日(土)午後開催され、意見交換を行った。懇談会での感想や質問の一部

質問：議会一般質問で堰下ガイドウェイ製作・保管ヤードの跡地利用について質問があったが、議員としてどう考えるか

A・交流や地域づくりの場として大事なところになる等々

要望：議会だよりにワンテーマについて議員の意見や感想を載せたらどうか？

意見：ロシア非難決議は大変良かったと思います。自然災害だけではなく、こうした作為的な被害に対しての危機管理も検討してもらいたい。

質問：議員の定数不足について議会はどうする？

A・議会については今年度の村民意識調査の項目に取り上げてもらい、今後の議会の在り方について検討したい。

尚、4月からは新しいモニターの皆さんにより、懇談会がスタートします。

◆議会モニターのご紹介

(任期：令和4年4月1日～令和6年3月31日)

市原東吉	瀬原居下	和智高順	繁明通	(北)
土木原平	澤瀬島岩	博静栄	二子男介	(寺の前)
栗新木多	井下田	秀吉祐	文美次洋	(帰牛原)
佐々木小	澤瀬島岩	裕博恵	行文司	(郭)
			泰子	(町)
				(南)
				(馬場)
				(両平)
				(田上川)
				(上平)
				(伊久間)
				(富田)
				(大和知)
				(氏乘)
				(大島)
				(加々須)

以上地区推せんの皆様です。今後2年間お世話になります、よろしくお願ひします。なお、公募枠は引き続き募集中です。



地域と繋がる保育

榎山 ちなみ

私は、喬木村の保育士になり3年が経ちました。毎日が刺激的で、たくさんの学びがあります。



喬木南保育園では、地域と繋がる保育の大切さを実感しました。南保育園では、散歩に出かけるとたくさんの地域の方が声をかけてくれ、地域の温かさを感じます。昨年度の3月に散歩の途中で年長児が地域の方にサツマイモの苗を見せてもらう機会がありました。そこから次の年にはサツマイモの苗をいただいて植え方や育て方を教えていただいたり、サツマイモの大きさ勝負をしようと声をかけてくれたり、地域の方とたくさん関わることができました。子ども達はサツマイモの栽培に興味をもち、生長していくと「〇〇さんのより大きくなったかな？」と楽しみにする姿があり、実際にサツマイモの畑を見せていただいたり、質問をしに行ったりしました。サツマイモを収穫すると「見せに行こう！」と張り切って見せに行き、サツマイモが生長した喜びを共有しました。



地域の方と関わることで、子ども達は地域の方の温かさを感じ、自分たちの住む喬木村に興味や親しみをもつことに繋がります。

コロナ禍ではありますが、工夫しながら地域と関わる機会を設けることはもちろん、子どもから発信された言葉や想いを大切に子ども主体となって地域の方との活動が行えるような保育を行っていきたいと強く思います。

議会日誌

1月

- 12日 全員協議会・議員全員協議会
- 25日 飯伊市町村議会議員研修会
(オンライン研修)

2月

- 9日 全員協議会・議員全員協議会
第一回臨時会

3月

- 2日 全員協議会・議員全員協議会
2日～22日
令和4年第一回定例会
- 22日 議員全員協議会

4月

- 7日 全員協議会・議員全員協議会

今後の予定

令和4年

5月

- 17日(木) 全員協議会・議員全議会

6月

- 3日(金)午前9時
全員協議会・議員全員協議会
午後1時30分
令和4年第二回定例会(開会)
- 7日(火)午後7時 常任委員会(夜間)
- 8日(水)午後7時 常任委員会(夜間)
- 9日(木)午後7時 常任委員会(夜間)
- 14日(火)午前9時 本会議(一般質問)
- 17日(金)午後1時30分 本会議(閉会)

7月

- 未定 全員協議会・議員全員協議会

表紙写真の説明

生徒を中心に検討、デザインを一新。ジエンダーレスな組み合わせを選べる制服に。



桜の花が咲き、木々の芽吹きが新しい季節を伝えてくれてはいまが、ふるさとに祭の賑わいは無く、コロナによる経済、コミュニケーションへの影響は日々深刻さを増している。世界では他国へ侵略を図る許されない戦争が起こり、私たちの生活に多大な影響をもたらしている。

三期目となった市瀬村政もリニア三遠南信統合保育園建設と将来に向けての難しいかじ取りの中、議会としても住民と共に住みよい村づくりを考えたいと思う。

(福澤一成)

編集委員会

- 委員長 福澤眞理子
- 副委員長 福澤一成
- 委員 下平 貢
- 委員 佐藤 文彦
- 委員 小川原美智穂